

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	作業療法概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期 水曜1限	教室名	402号室
担当教員	大島 行博	実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害領域・老年期障害領域・精神障害領域で活動。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 系統的な作業療法を構築できるよう、作業療法の過程について必要な知識を修得し、職業倫理を高める態度・姿勢の在り方について考える。この科目では具体的に、作業療法の基本的理解及び実践に向けて作業の意味、作業療法の基本プロセスや基盤となる原理、作業・生活・健康・幸福などの関連性について学ぶ。さらに、リハビリテーションと作業療法の哲学・概念・歴史をとおして、作業療法士に必要とされる資質・適正を考え、専門分野別で作業療法の実践について考える。また、チームアプローチの中で期待される作業療法士の役割を考え、専門職としての社会的責任を学ぶ。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 期末試験(筆記試験65%、グループワーク31%)、平常点(態度・準備)4%で評定する。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> ■教科書: 作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 作業療法学概論 [改訂第2版] (メジカルビュー社)、 国試の達人 OTシリーズ 2022 作業療法編 (アイベック) ■参考書: 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 作業療法概論 [改訂第2版] (メジカルビュー社)						
<b>《授業外における学習方法》</b> 授業時間内に終わらなかったグループワーク課題は宿題となる。 基本的に次の通り。学習は予習よりも復習をしっかり行い、不明点がないようにしていくこと。 事前学習: 事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分) 事後学習: 配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> ・ 予めテキストを読んでおくことが望ましいが、それよりも十分な復習を行うことが重要である。 ・ グループワークを通して、自己理解と他者理解を深めながら、自己学習、他者との協調、知識の整理・共有について学ぶ。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①作業療法の法律や定義 健康の概念と作業療法を説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】シラバスを読んでおく。(20分)	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、定義 科目のオリエンテーション(教育目標の確認等)を行う。 日本作業療法士協会等の定義等について知る。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	②作業療法における作業の概念について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)	
	各コマにおける授業予定	社会通念や作業の治療的意味、作業分析について学ぶ。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	③作業療法の歴史について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)	
	各コマにおける授業予定	作業療法と作業 世界における作業療法の歴史の変遷を学ぶ。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	④日本の作業療法の歴史を説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)	
	各コマにおける授業予定	日本の作業療法歴史、目的 作業療法養成校設立から作業療法学の変遷、概念を学ぶ。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	⑤ICFの概念について説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分)	
	各コマにおける授業予定	ICFの概念 ICIDHから学び、生活機能と構造を演習して学ぶ。			【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)	

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑥ICFの使い方(対象者の情報整理)を説明できる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	インフォームドコンセント、ICF インフォームドコンセントとICFについて考える。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑦ICFにおける症例検討をすることができる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分) 【事後学習】配布資料・プリント整理と復習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の過程、作業療法の歴史 作業療法とは？—ICFの概念に触れ、作業療法の対象や作業療法の過程、作業モデルについて学ぶ。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	⑧ICFの具体的なイメージを図ることができる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分) 【事後学習】グループワーク課題を進める。(50分)
		各コマにおける授業予定	ICFの概念 ICIDHから学び、生活機能と構造を演習して学ぶ。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	⑨身体障害の作業療法について説明できる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	⑩身体障害の作業療法について説明できる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	⑪精神障害の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	⑫精神障害の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。(10分) 【事後学習】グループワーク課題を進める。(50分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	⑬発達障害の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	⑭発達障害の作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前・事後学習】グループワーク課題を進める。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	⑮全体的な総括と作業療法について知ることができる。	教科書 配布資料	【事前学習】事前に配布資料等があれば一読しておく。 【事後学習】期末試験に向けた総復習を行う。(60分)
		各コマにおける授業予定	作業療法の流れ、開始、処方、評価について医療であることを明確化する。		